

平成 28 年度長岡市障害者生活実態調査について

1 調査目的

平成 29 年度の「第 5 期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画（平成 30 年度～平成 32 年度）」の策定に向け、障害のある人の生活実態等を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

2 対象者数（見込）

(1) 身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者を対象とし、種別に応じた調査票により調査を行う。

(2) 原則として手帳所持者全員を対象とするが、65 歳以上の身体障害者手帳所持者についてのみ 10%抽出とする。

(理由)介護保険の対象となる者が多く含まれている。(障害福祉サービスよりも介護保険サービスが優先される。)人数が多いため、抽出しても信頼性のある調査結果が得られる。

調査票	種別	対象者数	備考
A	身体障害者（身体障害者手帳所持者のうち在宅の 18 歳以上 65 歳未満）	2,820 人	継続
B	知的障害者（療育手帳所持者のうち在宅の 18 歳以上 65 歳未満）	1,440 人	継続
C	精神障害者（精神障害者保健福祉手帳所持者のうち在宅の 18 歳以上 65 歳未満）	1,200 人	継続
D	障害者施設入所者（県内）	320 人	継続
E	高齢者（手帳所持者のうち在宅の 65 歳以上）	1,240 人	継続
F	障害児（手帳所持者のうち 18 歳未満）	580 人	継続
	計	7,300 人	

3 調査方法

調査票を郵送し、同封の返信用封筒（料金受取人払）により回収

4 回収率見込

70%

5 集計、分析、調査報告書作成

大学等の研究機関に業務を委託する。

6 今後のスケジュール

時期	事項	内容等
平成 28 年 5 月	調査票の検討	調査票の内容について、当協議会委員の皆様への意見聴取
6 月	平成 28 年度第 1 回長岡市障害者施策推進協議会	調査票の確定
7 月	調査実施	
平成 29 年 3 月	平成 28 年度第 2 回長岡市障害者施策推進協議会	調査結果の報告